



岐阜大学 (岐阜県)



日本語をみがく秋学期、日本文化に親しみ論文に集中する春学期

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

●岐阜大学は、6学部等、8大学院研究科、学内共同教育研究支援施設、全国共同利用施設、図書館、医学部附属病院などからなる総合大学です。本学は「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の採択、「国際教養コース」の開設など、広い分野にわたって質の高い教育・研究が行われています。2020年には名古屋大学とともに東海国立大学機構を設立しました。

●岐阜大学のある岐阜市は、東京から約2時間(新幹線利用)、大阪や京都から約1時間(同)、名古屋から約20分という交通の便に恵まれた地方都市です。キャンパスのある柳戸地区は、岐阜駅からバスで約30分、自然豊かな田園地帯にあります。静かな環境に恵まれ、落ち着いた雰囲気の中で勉学に集中することができます。

●学部及び学生数等(令和3年5月現在)

○学部等=教育学部・地域科学部・医学部・工学部・応用生物科学部・社会システム経営学環

○大学院=教育学研究科・地域科学研究科・医学系研究科・工学研究科・自然科学技術研究科・共同獣医学研究科・連合農学研究科・連合創薬医療情報研究科

○教員 874名

○学生 学部生 5,640名 大学院生 1,596名
研究生・聴講生 113名 合計 7,349名

② 国際交流の実績(令和3年10月現在)

●現在、19ヶ国50大学と大学間学術交流協定を結んでおり、活発な国際交流を行っています。

●留学生在籍数 280名(約7割が大学院生、33ヶ国から)

●外国人研究者在籍数 2名

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2021年: 留学生数280人、日研生3人

2020年: 留学生数294人、日研生6人

2019年: 留学生数378人、日研生7人

④ 地域の特徴

●岐阜県は、日本のちょうど中央にあります。北部には高い山々が連なり、南部には清らかな川が流れています。日本の美しい自然と古き良き文化が残っており、伝統と現代とが調和した生活が見られる地域です。織田信長が城を構えた地としても有名です。

●岐阜県には、高山・郡上など、全国的に有名な観光地があります。岐阜市でも、中央を流れる長良川では伝統的な鶺鴒が行われ、そのほか多くの文化資源に恵まれています。

●岐阜市は、人口約40万人の中規模都市です。大都市より物価が安く、地域コミュニティー間の交流も活発なので、留学生生活を送るのに適した地域です。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a)主に日本事情・日本文化に関する研修
日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う約1年間のコースです。

② 研修・コースの特色

●日本語能力のレベルに応じて、日本語クラスを受講することができます。そのため、段階的で効果的な日本語能力の向上が可能となっています。

●多彩な日本文化科目を開設しています。受講生の興味・関心に従ってこれらの科目を受講することになります。

●1年間(秋学期・春学期)で効果的な学習ができるよう、本コース受講生対象のクラスを設けています。

●能・狂言等の鑑賞、茶道実習、博物館見学などを行い、伝統文化に触れます。

●岐阜県内(岐阜市・郡上市など)および近県へ数回、見学や実習の旅行に行きます。

●岐阜大学留学生対象の旅行やスキー教室にも参加することができます。

●日本人学生と交流するクラスも設置しています。また、日本人学生および学部留学生用の授業を履修することも可能です。

●日研生をサポートするチューターがいます。

●本コース修了後、日本の大学院に再留学する修了生も少なくありません。

●修了生の感想をぜひごらんください:

[https://www.glocal.gifu-](https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/center/education/jlcourse/message/)

[u.ac.jp/center/education/jlcourse/message/](https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/center/education/jlcourse/message/)

③ 受入定員

10名(大使館推薦5名、大学推薦5名)

※大使館推薦の学生を優先的に受け入れます

④ 受講希望者の資格、条件等

- 在籍大学において日本語・日本文化を主専攻とする学部学生（2年生以上）であること。
- 日本語能力試験N2合格以上、あるいはそれに相当する日本語力を有していること。

⑤ 達成目標

- 日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格以上）、実体験を通して日本文化についての広い知識を学びます。
- 修了論文作成を通して、研究および論文執筆・発表の基礎を身につけます。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2022年10月上旬 ～ 2023年8月下旬
（在籍期間：2022年10月1日～2023年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2022年10月 ～ 2023年8月

⑧ 研修・年間スケジュール・

- 10月初め：渡日
 - 10月：秋学期ガイダンス・開講式
 - 11月：大学祭、県内見学旅行
 - 12月：伝統衣装装着体験
 - 1月：論文テーマ決定
 - 4月：春学期ガイダンス、茶道実習（～7月）
 - 5月：郡上踊りワークショップ
 - 6～7月：能楽ワークショップ等文化体験
 - 8月：修了論文提出、修了論文発表会、論文審査、成績判定、修了式（2021年は8月24日）
 - 8月末：帰国
- （1年を通して随時地域貢献活動を実施）

⑨ コースの修了要件

- 日本語・日本文化研修コースで規定されている講義科目を受講し、出席率を満たした上で、一定の成績を修めて必要単位を取得すること（秋学期21単位、春学期19単位）。
- 修了論文を執筆し口頭発表すること。

- 成績証明書、修了証書を発行します。
- 単位認定・単位互換は、在籍大学との交渉を通じて可能です。在籍大学に確認してください。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

- 実体験を伴って多彩な日本文化に触れることができます。秋学期には伝統衣装装着体験、春学期には、能楽ワークショップ、茶道実習等が予定されています。
- 修了論文指導が非常に丁寧で充実しています。

【日本語科目】

- 「総合日本語」
中上級レベルの文法・語彙・読解・口頭表現・文章表現など、総合的な日本語能力の向上をはかります。
- 「日本語読解演習／文章表現／口頭表現／聴解演習」
個別の日本語能力の上達をめざします。

【日本文化科目】

- 「現代日本の社会」「日本文学概論」「地域実見-岐阜を知る-」「日本の文化芸術」
日本の社会と文化を学び、自国の社会と文化との相違を認識します。これらは本コース受講生のために設定されている科目です。
- 「日本事情CⅡ」
日本人学生とのディスカッションを通して、多文化社会についての理解を深めます。

【全学共通教育科目】

- 日本人学生用に開講されている科目です。多様な講師による日本語での講義を受講します。

【論文指導・修了論文】

- 問題意識を高めた上で、論文の作成に進みます。論文完成後、修了論文口頭発表会を開催します。
- 2021年度岐大日研生の修了論文テーマ
・現代スポーツ小説に描かれた「風」
・方言によるステレオタイプ
・恥の文化から見る孤独死



2) 研修・コース開設科目

- 授業は秋学期・春学期原則各15週開講されます。
- 必要単位数は秋・春合計40単位です。
- 授業科目名は変更される場合があります。
- 一週間あたりのコマ数（1コマ＝90分）は下記のとおりです。

| 授業科目 | 秋学期 | 春学期 | 計 |
|-----------|---------|--------|---------|
| 総合日本語 | 5 (5) | — | 5 (5) |
| 全学共通教育科目 | — | 3 (6) | 3 (6) |
| 日本語読解演習 | 1 (2) | 1 (2) | 2 (4) |
| 日本語文章表現 | 1 (2) | 1 (2) | 2 (4) |
| 日本語口頭表現 | 1 (2) | 1 (2) | 2 (4) |
| 日本語聴解演習 | 1 (2) | — | 1 (2) |
| 現代日本の社会 | 1 (2) | — | 1 (2) |
| 日本事情CⅡ | 1 (2) | — | 1 (2) |
| 日本文学概論 | 1 (2) | — | 1 (2) |
| 地域実見岐阜を知る | 1 (2) | — | 1 (2) |
| 日本の文化芸術 | — | 1 (2) | 1 (2) |
| 論文指導 | — | 1 (1) | 1 (1) |
| 修了論文 | — | (4) | (4) |
| 合計 | 13 (21) | 8 (19) | 21 (40) |

Ⅱ) 選択科目

●より専門的な内容を学びたい場合は、学部開講科目の履修も可能な場合があります。ただし、担当教員の許可が必要です。

3) 見学、地域交流等の参加型科目

●「秋学期には、県内見学旅行が予定され、「地域実見」では、岐阜城や博物館や寺社を訪問したり、鶯飼について学んだりします。春学期には郡上踊り」のワークショップもあります。

●本学の歴代の日研生は、地域（主に岐阜県郡上市）の観光振興プロジェクトや人事課研修に貢献しており、今後も継続が予定されています。

4) 日本人学生との共修がある科目

●春学期には、日研生コースの一部として全学共通科目を選択します。日本人学生とともに学ぶ科目で、グループ活動が重視される授業では、活発な意見交換が求められます。ただし、全学共通科目の履修には、十分な日本語能力と担当教員の許可が必要です。

⑪ 指導体制

【責任教員】

| 氏名 | 所属 | 職名 | 専攻 |
|------|--------|----|-------|
| 土谷桃子 | 日文センター | 教授 | 日本文学 |
| 森田晃一 | 日文センター | 教授 | 日本文化史 |

【協力教員】

上記以外の日文センター教員、地域科学部・教育学部の教員、非常勤講師など



■ 宿 舎

●岐阜大学には、大学内に外国人留学生・研究者用の宿泊施設である国際交流会館があります。

●日本語・日本文化研修コース受講生は、この宿舎が優先的に提供されます。過去の本コース受講生は、全員本宿舎に入居しています。

【国際交流会館】

鉄筋コンクリート4階建（A棟）・5階建（B棟）
部屋数 単身室69室・夫婦室14室・家族室7室
（単身室A棟5,900円/月・B棟4,700円/月）

※今後、家賃は変更する可能性があります。



■ 修了生へのフォローアップ

●岐阜大学の日研生コース修了者の特色は、再来日し日本の大学院に入る学生が多いことです。日本への再留学を希望する学生には、随時進路相談に乗っています。

●過去には、岐阜大学をはじめ、全国各地の国立大学の大学院に進学しています。研究者として本学に戻ってきた修了者もいます。

●大学院修了後、日本で就職した学生、帰国して日系企業に就職した学生がいます。

●本コース修了生がたびたび岐阜大学を訪問してくれることを、とても嬉しく思っています。Facebookでも継続的に交流しています。



■ 問合せ先

<担当部署>

岐阜大学グローバル推進機構留学支援室

住所：〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1

TEL：+81-58-293-2137（直通）

FAX：+81-58-293-2143

Email：inbound@gifu-u.ac.jp

<ウェブサイト>

岐阜大学ウェブサイト

<http://www.gifu-u.ac.jp/>

岐阜大学日本語・日本文化教育センターサイト

<https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/center/>

（Facebookもご覧ください）

日研生コースページ

<https://www.glocal.gifu-u.ac.jp/center/education/jlcourse/>